

(財) クリーン・ジャパン・センター 研究発表会事務局行  
(FAX: 03-3432-6319)

第11回資源循環技術研究発表会 受講申込書



平成15年 月 日

会社・所属機関名: \_\_\_\_\_ 一般・会員

住所: 〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

受講者氏名	所属・役職名

領収書: 要・否 (当日支払の場合、いずれかにをつけて下さい)

平成15年度

第11回資源循環技術研究発表会

開催のご案内

平成15年8月  
財団法人 クリーン・ジャパン・センター

20世紀に入って展開されてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動は、技術の飛躍的な発展、経済の高度な成長をもたらしましたが、一方で環境への負荷が大きくなり、また、資源循環も阻害してきました。平成12年度における我が国のマテリアルバランス(環境白書)によれば、約21.3億トンの物質が投入され、その約3分の1に当たる約7.1億トンが廃棄物や二酸化炭素という形態で環境に排出されています。さらに、将来の潜在的な廃棄物となりうる蓄積量が約10.8億トンとなっているのに対し、循環利用量は約2.2億トンと物質投入量の約1割となっています。

21世紀はこのような状況から脱却し、環境と経済を統合した持続可能な発展を成し遂げなくてはなりません。すなわち、物質投入量、資源採取量、エネルギー消費量、廃棄物発生量等を抑制(リデュース)し、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の促進を図っていくことが不可欠となる訳です。

このため、我が国では官民一体となって資源循環に関する技術の研究開発が鋭意行われております。そこで、関連先進技術の研究開発に携わっておられる方々にご講演をお願いし、広く情報交換、意見交換する場として、標記の研究発表会を開催することとなりました。この発表会を通して、今後の研究開発の計画策定等にお役立ていただければ幸いです。

ここに多数のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

- 1. 開催日時 平成15年10月17日(金) 10:00~16:45  
注) 昼食は各自でご用意下さい。
- 2. 開催場所 発明会館ホール(詳しくは案内図をご参照下さい)  
東京都港区虎ノ門2-19-14 電話: 03-3502-5499(代)



このセミナーは競輪の補助金を受けて開催するものです。

3. 参加費 一般 3,000円  
 会員 2,000円  
 なお、上記費用には予稿集代も含まれております。
4. 定員 250名程度
5. 申込方法 受講申込書によりFAXでお申込み下さい。
6. 申込先 (財)クリーン・ジャパン・センター 研究発表会事務局  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 (第2秋山ビル)  
 TEL: 03-3432-6301 FAX: 03-3432-6319
7. 参加費の支払方法  
 (1) 当日支払: 当日受付でもお支払いいただけますが、混雑が予想されますのでできるだけ銀行振込をご利用下さい。  
 (2) 銀行振込: 申込みと同時に所定の参加費を下記口座にお振込み下さい(送金手数料はご参加者にてご負担願います)。
- 振込先 みずほ銀行 虎ノ門支店 (普) 1429963  
 口座名義人 (財)クリーン・ジャパン・センター
8. 参加締切 平成15年10月3日 (金)  
 (定員になり次第締切りといたしますので、お早めにお申し込み下さい)
9. 会場案内:  
 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅3番出口 徒歩5分  
 地下鉄日比谷線、千代田線、丸の内線「霞ヶ関」駅A13番出口 徒歩13分



## 第11回資源循環技術研究発表会プログラム (予定)

平成15年10月17日 (金) 発表9件

[ 開会挨拶 ] (敬称略)

10:00 ~ 10:05		(財)クリーン・ジャパン・センター 理事長 三村 清
---------------	--	-------------------------------

[ 研究開発事例 ]

10:05 ~ 10:35	ポリカーボネイト樹脂の液相分解法による モノマー化技術の開発	日本ビクター(株) 川合 登
10:35 ~ 11:05	高精度識別と異物除去による使用済み プラスチックリサイクルシステムの構築	松下電器産業(株) 久角 隆雄
11:05 ~ 11:35	使用済みコンプレッサーリサイクル に関する基礎研究	松下冷機(株) 那須 均
11:35 ~ 12:05	冷鉄源溶解炉における タイヤチップ使用技術の確立	新日本製鉄(株) 江場 篤
12:05 ~ 12:35	1,000t/y 規模パイロットプラントによる 塩ビ樹脂脱塩素技術の検証	日本鋼管(株) 浅沼 稔

昼 食

[ 研究開発事例 ]

13:30 ~ 14:00	林産資源の ゼロエミッション型有効利用法の開発	金沢大学 中村 嘉利
14:00 ~ 14:30	石炭灰の造粒化実証プラント	宇部興産(株) 大中 昭

休 憩

[ 基調講演 ]

14:45 ~ 15:45	最近の環境関連施策の動向について (仮題)	経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 井内 摂男
---------------	-----------------------	----------------------------------

[ 研究開発事例 ]

15:45 ~ 16:15	PCリユースプロセスの構築と事業化	日本アイ・ピー・エム(株) 塩ノ谷淳一
16:15 ~ 16:45	RoHS 指令対象物質のわが国における マテリアルフローに関する調査	(財)クリーン・ジャパン・センター 柳橋 泰生